



2018年11月9日

報道関係各位

グラクソ・スミスクライン株式会社

## グラクソ・スミスクライン株式会社 2018年度 GSK 医学教育事業助成の対象学会を発表

グラクソ・スミスクライン株式会社(社長:ポール・リレット、本社:東京都港区、以下 GSK)は、本日、2016年より開設した GSK の助成制度「GSK 医学教育事業助成」について、2018年度に採択された対象学会について、ウェブサイトを通じて発表いたしました。

「GSK 医学教育事業助成」は、日本の医療の質と知識の向上を支援するための助成制度です。一定規模の正会員を有する医学関係学会および医会を対象に、特定の疾患領域において独自に企画する医療関係者の知識および能力向上を目的とした教育事業を支援するものです。2016年および2017年に助成された医学教育事業は既に実行され、その成果が集積されています。

本年度は2018年3月1日から2018年6月29日を募集期間として公募を行い、募集要項に沿って独立した外部有識者で構成される審査委員会で公正性を持って審議され5学会が採択されました。

採択された学会に関する情報は以下の URL からご覧いただけます。

<https://jp.gsk.com/jp/research/ime-grant-2018/>

GSK 社長、ポール・リレットは次のように述べています。

「GSK 医学教育事業助成は、より透明性が高く、より公正な形で、従来とは異なる新しい枠組みで日本の医療の質と知識の向上を支援するために2016年に開設した助成制度です。これは、医学教育を通じて医療現場の質の向上、最終的には患者さんに届く医療の質が向上することを目的としたものです。GSK は今後も科学・メディカルへの積極的な関与および有意義な助成制度等を通じ、日本の医療の更なる発展に尽力する所存です。」

GSK は、より多くの人々に「生きる喜びを、もっと」を届けることを存在意義とする科学に根差したグローバルヘルスケアカンパニーです。詳細情報は <https://jp.gsk.com/> を参照ください。